

# 2007 年度（平成 19 年度）事業計画書

2007年度は、2005年度に定めた5つの中期的な課題、すなわち

- ① 企業メセナの今日的意義の再整理とその普及
- ② 日本の社会状況にふさわしい企業メセナの促進
- ③ 「文化支援プラットフォーム」としての機能充実
- ④ 地域の活力を高める企業メセナの支援
- ⑤ 新会員の加入促進対策の強化

を目指して、各事業を下記のとおり推進してまいります。

また3年後には、協議会設立20周年を迎えるため、記念事業の検討や体制づくりなど準備に着手する初年といたします。

## 1. 啓発・普及事業（6,860千円）

### 1.1 セミナー等の開催（2,310千円）

本年も昨年に続き、メセナに関する公開セミナーを東京・関西地区を中心に開催します。企業を対象としたセミナーや、アーティストや芸術団体を対象とした基礎講座などを行い、一部はパッケージ化を試みて各地でのメセナの啓発・普及に努めます。運営にあたっては、地元アートNPO等と連携しての運営を検討します。また、メセナの現場を訪れるフィールド視察を行います。なお、会員以外の一般からの参加は、テーマにより参加費・資料代等を徴収することとします。

開催地域	回数	予定時期
①東京地区	年3回	07年5月・12月・08年3月
②関西地区	年2回	07年7月・10月
③その他地域	年1回	07年9月

## 1.2 全国メセナネットワーク会議への参加 (350 千円)

全国メセナネットワーク (加盟 17 団体/事務局: 企業メセナ協議会) の本年度の全国会議は、2007 年 9 月 7 日 (金)・8 日 (土) に群馬県・前橋市で開催される予定です。本年は (社) 企業メセナ群馬の主催であり、加盟団体関係者との交流を通じて、地域における企業メセナの振興に努めます。

当協議会会員にも積極的に参加を呼びかけます。

## 1.3 広報活動の強化 (590 千円)

本年度も各メディアとのリレーション強化に努めつつ、「メセナ アワード」やメセナ活動実態調査などの事業を中心に、積極的な広報活動を展開します。

## 2. 情報集配・仲介事業 (24,656 千円)

### 2.1 情報誌の発行 (6,200 千円)

創刊 9 年目となる機関誌『メセナ note』は、毎号、企業メセナに関するタイムリーな特集テーマを設けて編集・発行し、読者も定着してきました。本年度も、ホームページやメールマガジンと連動させながら、メセナの啓発・普及や芸術文化関連のインフラ整備に繋がるようにメッセージ性を高めつつ、内容の充実をはかります。

[発行要領]

□発行月 奇数月 15 日 (年 6 回)

※上記のほかに、特別号・増刊号を発行の予定

□体裁 A5 サイズ、16 ページ

□発行予定部数 毎号 約 5,000 部

\*なお本誌の制作にあたっては、会員企業より特別協賛をいただく予定です。

(前年度協賛企業: アサヒビール、サントリー、資生堂、損害保険ジャパン、  
第一生命保険、大日本印刷、松下電器産業、ワコール)

## 2.2 情報システムによる発信 (5,883 千円)

### (1) ホームページ (<http://www.mecenat.or.jp/>)

2004 年度の全面リニューアル以降アクセスが増加し、月平均約 12 万件（ページビュー）となっています。本年度も、ホームページについては英文ページを含むコンテンツの充実をはかるとともに、ブログにてリアルタイムな事務局からの情報発信をおこなってまいります。

### (2) メセナ活動のデータベース「メセナビ」 (<http://www.mecenavi.info/>)

2005 年度に全面リニューアルし、検索機能を充実させました。また、現在の収録データは企業約 500 社・活動約 2,800 件、民間財団約 150 団体で、今後もデータは増加の見込みです。現在、月平均アクセスは約 4 万件あります。

本年度は、2007 年度のメセナ活動実態調査の結果に基づきデータの更新を行うとともに、企業メセナの有力な情報源としてより多くの人々に活用されるよう PR をしてまいります。

## 2.3 コーディネート事業 (3,739 千円)

会員企業や教育機関、公共団体等からの要請に応え、メセナ関連の事業や教育カリキュラム等の企画立案あるいは運營業務に協力します。

今後さらに、協議会に蓄積された情報やノウハウの整備をすすめて、会員企業のメセナ活動を支援できる体制づくりに努めてまいります。

### 〈現在継続中の事業〉

企業・団体	概 要
アサヒビール（株）	美術展アサヒ・アート・コラボレーションの企画運営
トヨタ自動車（株）	アートマネジメント総合情報サイト「ネット TAM」、トヨタ・アートマネジメントフォーラムの企画運営

## 2.4 資料収集 (967 千円)

事務局内のライブラリーは、メセナ関連図書や資料の整備を進めており、今後、情報センターとしての機能充実と「わかりやすく」「見やすい」環境づくりをめざしてまいります。

[現在の閲覧資料]

書籍・報告書 約 1,300 冊、企業・企業財団の資料 約 2,000 社、新聞・雑誌掲載記事、各機関の定期刊行物、映像資料約 300 点

## 2.5 出版 (1,399 千円)

本年度は、主要なセミナー内容を小冊子「メセナ セミナーシリーズ」として編集し、継続発行いたします。また次回「メセナ白書シリーズ」の発行について、内容や発行時期、体制等の検討に着手いたします。

## 3. 調査研究事業 (10,981 千円)

### 3.1 調査活動 (2,858 千円)

<メセナ活動実態調査>

本年度も調査部会の協力を得て、より多くの企業におけるメセナ活動の実態把握を行い、さまざまなメセナの実例の発掘をめざすとともに、調査結果を踏まえて長期的な動向および課題の分析に取り組みます。

調査対象 民間企業約 4,400 社(財団調査は隔年実施のため無し)

実施時期 2007 年 4 月～5 月

調査方法 郵送によるアンケート

調査結果の発表方法

- ① 報告書「メセナリポート 2007」
- ② メセナ活動データベース『メセナビ』
- ③ 協議会ホームページ
- ④ 記者発表会の実施、プレスリリースの配信

### 3.2 研究活動（854 千円）

#### (1) 研究（525 千円）

本年度前半に、2006 年度の研究テーマ「企業メセナの成果と課題」についての研究結果と提言をまとめて発表し、公開報告会をおこないます。緊急性を要する課題については、それ以前に発表することもあります。

後半は、引き続き現場に即した研究を進めてまいります。

#### (2) 実務担当者勉強会（329 千円）

会員企業のメセナ担当者による「実務担当者勉強会」（通称：「メセナ若手ネットワーク」）は、参加者の自主的な企画・運営を基本に、年間 3-4 回開催されるよう推進します。

本年 3 月に実施のアンケートにより勉強会テーマのニーズを把握し、開催内容を検討します。

#### 4. 顕彰事業 (15,960 千円)

##### 4.1 「メセナ アワード 2007」 (9,519 千円)

新たなメンバーとなった大賞部会の協力を得て、本年度も文化庁との連携のもとに、「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門からなる「メセナ アワード」を実施します。

□募集期間 4月～5月

□審査会 8月下旬・9月中旬(2回)

□贈呈式 11月29日(木) (会場:東京港区・スパイラルホール)

□後援 文化庁

なお、審査委員は、任期2年目となる次の方々です。

いとうせいこう氏 [作家、クリエイター]

大笹吉雄氏 [演劇評論家]

岡部真一郎氏 [音楽評論家、明治学院大学教授]

樺山紘一氏 [東京大学名誉教授、印刷博物館館長]

北川フラム氏 [アートディレクター、アートフロントギャラリー代表]

榑崎洋子氏 [武蔵野音楽大学教授、音楽学]

山根基世氏 [NHKアナウンス室長]

福地茂雄 [企業メセナ協議会次期理事長 (予定)]

#### 5. 国際交流事業 (1,148 千円)

##### 5.1 国際交流 (552 千円)

本年度も各国のメセナ組織との情報交換や、国際メセナネットワーク会議への出席などにより、国際交流を深めます。特に韓国はじめアジア地域の組織とは、より緊密な関係をつくるよう活動して参ります。

## 6. 助成事業（助成寄付金額 800,000 千円／業務費 14,744 千円）

「助成認定制度」の認定実績推移は下表のとおりです。当制度の利用実績が芸術への寄付のバロメーターと見られることもあり、寄付や協賛により多彩な芸術文化活動を支援する風土を醸成するためにも、(財)大阪21世紀協会をはじめ全国各地の相談窓口とも連携しつつ、積極的に制度の利用を呼びかけてまいります。

### (参考)最近の助成認定実績

年 度	1994	2001	2002	2002	2003	2004	2005	2006※
申請件数	103	151	155	155	246	276	245	164
認定件数	83	146	153	153	234	256	234	160
寄付件数	159	949	835	835	1,001	1,643	1,738	1,278
金額 (万円)	19,705	57,361	47,679	47,679	46,113	64,932	76,581	100,324
1件当り (万円)	123	60	57	57	46	39	44	79

※2006年度は10ヶ月の実績



以上の各事業を推進するとともに、2007年度は入会促進に注力します。

## 7. 入会促進活動

協議会設立以来の会員数の推移は下表のとおりです。

設立 20 周年に向けて、また新しい活動へのチャレンジを視野に、CSR の浸透や企業業績が好調なこの機を捉え、入会促進活動を推進します。

(参考) 年度別会員数推移 (毎年度 4 月 1 日現在)

年度	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998
正会員	159	183	177	167	171	169	172	172	169
準会員	25	33	38	39	41	39	44	45	41
年度	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007 見込
正会員	167	167	169	160	154	145	148	146	149
準会員	41	42	41	42	41	41	39	39	40

以上